



# ともいき遊園地であそぼう 誰もが遊べるインクルーシブ移動遊園地 in 辻堂海浜公園



## 報告書

令和6年11月

神奈川県共生推進本部室



# 1 趣旨

平成28年津久井やまゆり園事件発生後、県では「ともに生きる社会かながわ憲章」を策定し、理念の普及を進めてきた。しかし、障がいのある人に対して、障がいを理由とする差別や偏見があると思うと回答した方の割合は 88.5% である。

(令和4年度内閣府「障害者に関する世論調査」)

そこで令和6年度 インクルーシブなイベントを  
県内各地の県立公園等で実施することとした

狙い

誰もが気軽に参加できる共生の場  
(インクルーシブな場) を創出する。



- ⇒ ・障がい児・者が充実した余暇を過ごし、生活を豊かにする  
・若者や子どもを中心に障がいに対する理解促進につなげる

ともに生きる社会かながわ憲章」の理念の実現へ

## 2 開催概要

- 1 日時 令和6年10月13日（日曜日）10時から16時まで
- 2 場所 神奈川県立辻堂海浜公園 交通公園
- 3 実施主体 主催：神奈川県  
共催：神奈川県公園協会（指定管理者）
- 4 協力団体 特定非営利活動法人laule'a（ラウレア）  
一般社団法人SSP（サイドスタンドプロジェクト）  
社会福祉法人アール・ド・ヴィーヴル
- 5 来場者数 **約3000人**（目標300人の10倍）

# 3 実施内容

## (1) インクルーシブな遊具体験

協力：特定非営利活動法人laule'a

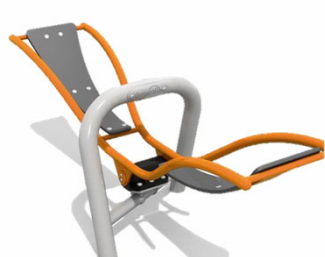
障がいの程度に関わらず、子どもたちが一緒に遊べる遊具を設置したほか、車いす体験を実施しました。

【インクルーシブ遊具・エアートランポリン】（体験者数 約1500人）

遊具名フレディ



ドラゴンフライ



グランドハニカム



タートル



寝たままや座ったままでも遊べる遊具を設置して、スタッフが付き添って遊び方を伝えたり、子どもの遊びをサポートしました

【インクルーシブゴーカート】

（体験者数 150組）



Kanagawa Prefectural Government

障がいがある座位を保てない子も保護者などと一緒に乗れるゴーカート体験を行いました（希望者に整理券配布）

【車いす体験】

（体験者数 約300人）



車いすバスケの体験、電動車いすの走行体験を実施しました

## 3 実施内容

### (2) 障がいのある人も乗れるバイク乗車体験

協力：一般社団法人SSP（サイドスタンドプロジェクト）

障がいのある方がレース場や貸し切った公道で実際に乗れるように、アクセルの位置などを改良したバイクを、来場した子どもたちに乘ってもらった体験を実施しました。（希望者に整理券配布）

交通公園内の自転車用の練習道をスタッフ4名が付添い、バイクを人力で押して、バイクにまたがる・走行する雰囲気を感じていただきました。

（乗車体験者数 約130名）

※うち車椅子を使用している方約15名



走行用のバイクとは別のバイクを用意し、停車しているバイクへの乗車体験＆写真撮影会も実施しました。

## 3 実施内容

### (3) アートワークショップ 「みんなで大きな絵を描こう」

協力：社会福祉法人アール・ド・ヴィーブル

社会福祉法人アール・ド・ヴィーブルに所属する障がい者アーティストと参加者が一緒に、クレヨンやキットパス、カラーペン、絵の具など様々な画材を用いて、縦約1.1m×横約3.7mの大きさの紙に参加者が思い思いの絵やメッセージを約1時間の間で描きました。（参加者 約200名）



ワークショップ開催中以外には同団体の作品販売、画材を使用したかながわキンタロウのぬりえ、缶バッジ制作を行いました。

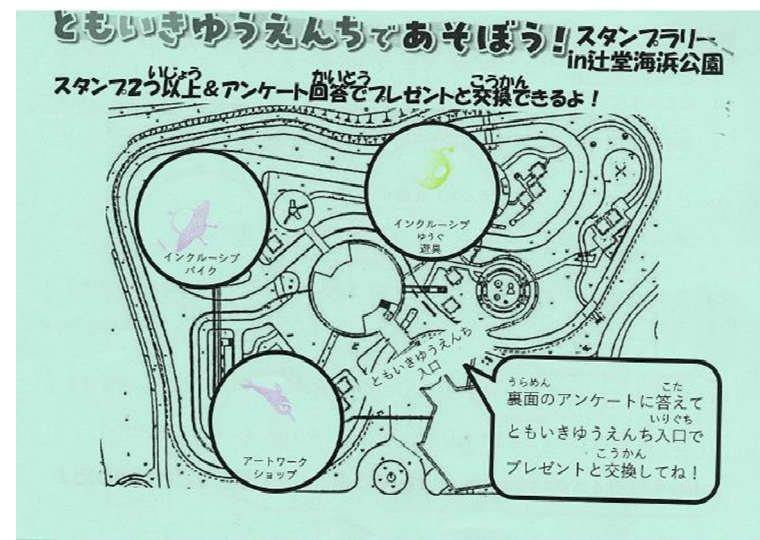


### 3 実施内容

#### 【スタンプラリー】

参加者には風船や  
シールなどをプレゼント

当日は約1600枚を配布



#### 【配慮事項】

プール棟にきがえスペース・簡易ベッドを設置

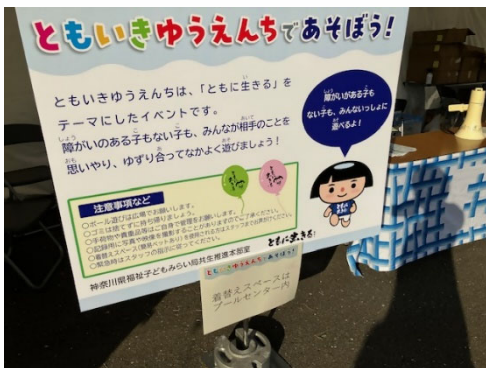
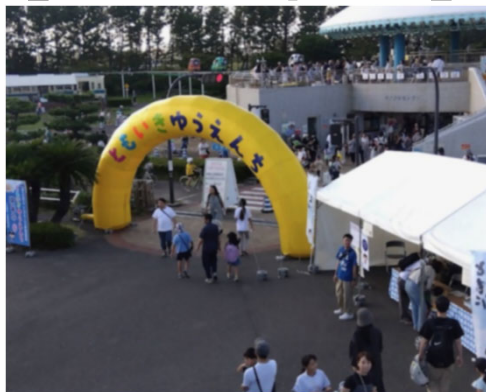
利用者数 7組

オムツ交換、着替え、休憩  
などに使用



# 3 実施内容

## 【当日の様子】





## 4 参加者アンケート結果

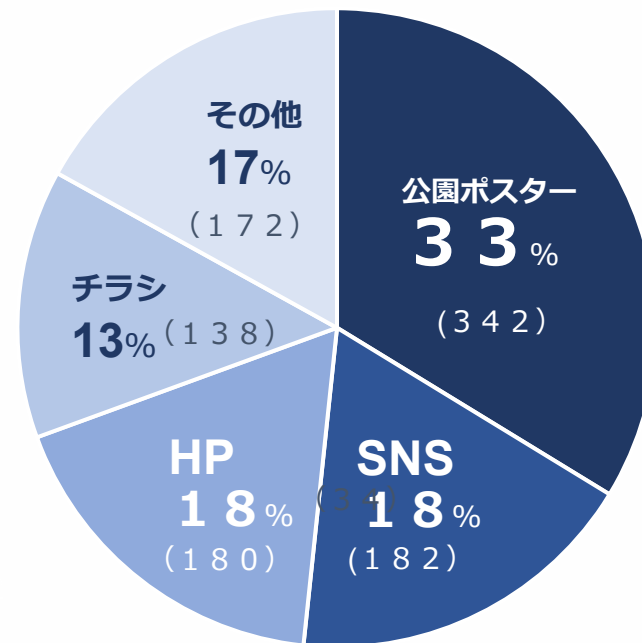
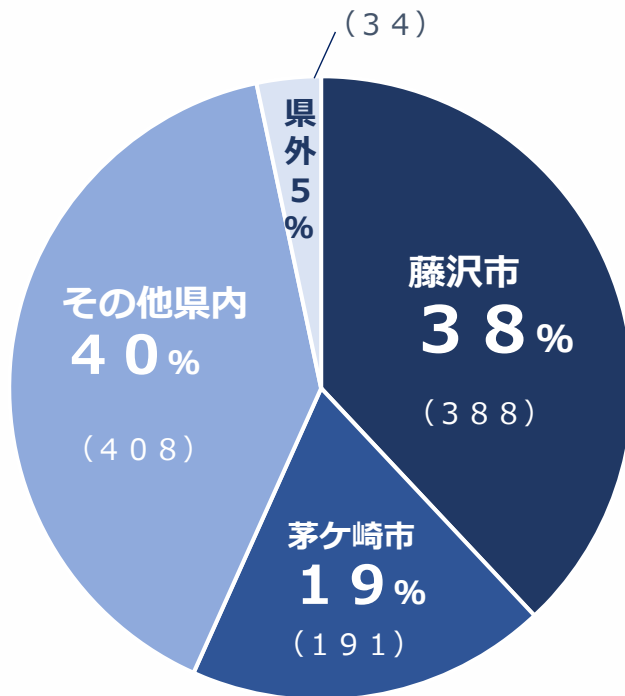
n = 1026枚

( ) は回答数

※項目により回答なしのものもあるため、nにならない場合あり

Q1 どこに住んでいますか？

Q2 どうやって知りましたか？



## 4 参加者アンケート結果

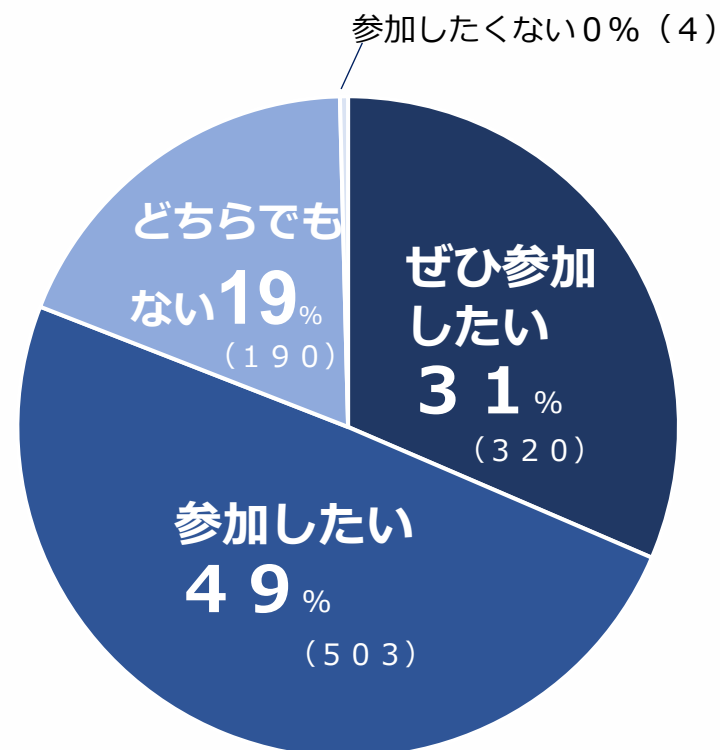
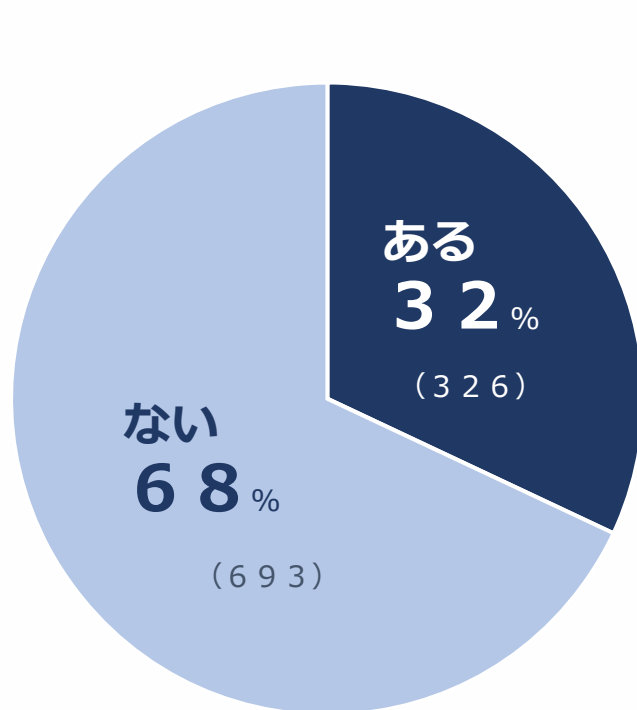
n = 1026枚

( ) は回答数

※項目により回答なしのものもあるため、nにならない場合あり

Q3 憲章を知っていますか？

Q4 共生社会（ともに生きる）  
をテーマにしたイベントが  
他にあれば参加したいですか？



## 5 当日の来場者の方のご感想から

<よかった点>

- バイクの乗車体験など、普段経験できないことを経験することができて良かった。
- 遊具のコーナーでは障がいのある子もない子も、一緒に遊ぶことができてよかった。
- 遊具のコーナーにはスタッフがいて、遊び方を教えてくれた。
- バイクの乗車体験時には、障がいのあるライダーの方から普段の活動や、バイクの醍醐味について話を聞くことができた。
- 障がいのある子は体温がこもるので、テントや日陰があってよかった。ベッドを利用して、少し涼しいところで休ませてもらえて良かった。

## 5 当日の来場者の方のご感想から

### <課題1 会場内の混雑>

- ・交通公園内が混雑していたため、待ち時間が長かった。ゴーカート体験は、すぐに整理券がなくなってしまった。
- ・障がいのある子は同じ場所で長い時間待てないため、行列に並ぶことが難しかった。
- ・感覚過敏の特性があり、混雑のため、遊ぶことができなかった。

#### ⇒【課題1 改善案】

列に並ばずに、別の場所で待って過ごせるように整理券の配布や、予めホームページで整理券の配布時間を周知するなどの対応を検討します。

### <課題2 天候・気温について>

- ・障がいのある子は体温調整が苦手な子もいる。晴天で暑かったので、きがえスペースに扇風機などの設置があると良かった。

#### ⇒【課題2 改善案】

今後、実施する際には扇風機などの配置を検討します。

## 6 協力団体からのご感想

### 【特定非営利活動法人laule'a 副理事長 大郷様】

これまでも様々な活動をしてきたが、肢体不自由や自閉症など、障がいの種類や程度に関係なく、こんな大人数の環境で、一緒に遊ぶ空間は初めてだった。

これからも、同じ遊具で誰もが一緒に遊べるように、どういう工夫ができるかを考えていきたい。



写真右 laule'a大郷様  
写真左 SSP 青木様

### 【一般社団法人SSP 代表理事 青木 様】

今までは1日最大5名程度の障がい者がバイク乗車・走行体験を行ってきた。今回、初めてスタッフの手押しで、大人数の子どもたちを対象のバイク走行体験を行った。

無理と思えるようなことができ、どんどん新しいことに興味ができ、家から出るきっかけになってもらえると嬉しい。

### 【社会福祉法人アール・ド・ヴィーヴル理事長 萩原 様】

ワークショップ「みんなで大きな絵を描こう」では、当法人の運営する障害福祉サービス利用者の方も、会場にいらした方たちも一緒になって、それぞれの思い思いの絵を描きました。車いすの方も、クレヨンなどをつけた棒を持って、一緒になって絵を描きました。

まさに、みんなで絵を描くことができました。



写真  
アール・ド・ヴィーヴル 萩原様

## 7 ともいき寄附の活用

県では「ともに生きる社会かながわ」の実現に向けた寄附（通称「ともいき寄附」）を募集しています。

※ふるさと納税の使い道として、本イベントへの使用を指定することができます。

今回のイベント実施についても、頂いたご寄附を活用させていただきました。

ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。

引き続き、寄附は募集しております。

皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

神奈川県ホームページ「ともいき寄附はじめませんか」

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/m8u/tomoikihukin.html>



神奈川県では、「ともに生きる社会かながわ」の実現に向けて、共生社会（ともいき）を楽しく体感できるさまざまな取り組みを実施するための寄附を受け付けています。皆さまの温かい応援をよろしくお願いいたします。

### 寄附の活用先はコチラ

**「インクルーシブ移動遊園地」でみんな一緒に遊ぶ！**

障がいの程度に関わらず、お子さんたちが一緒に遊べる遊具（ゴーカートやエア遊具等）を活用して、子どもたちの遊びの機会を提供する民間団体（NPO 法人ラウレア）のご協力のもと、県立公園等で移動遊園地を実施します。

**障害があっても運転できる「バイク」にチャレンジ！**

車椅子、義足などを使用している方でも運転できる特別なオートバイを使って、運転にチャレンジできる機会を提供する民間団体（一般社団法人 SSP（サイドスタンドプロジェクト））のご協力のもと、活動紹介やミニ体験会を実施します。

**みんなで「ともいきアート」を作っちゃおう！**

ともいきアート（障がい者アート）団体の協力のもと、障がいの程度に関わらず、誰もが一緒にアート作品などの創作活動を楽しんで行う、ともいきアートワークショップを実施します。

**寄附の方法**

①県ホームページ（寄附の手続き）からの寄附  
県ホームページから、「ふるさとチョイス」「さとふる」「楽天ふるさと納税」の各種ポータルサイトを通じて、お申し込みができます。  
※ふるさと納税制度を活用するため、神奈川県内にお住まいの方の返礼品を受け取ることでできません。（神奈川県外にお住まいの方は各サイトから返礼品を請求することができます。）

②納付書による寄附  
共生推進本部までお電話、または県のホームページよりお問い合わせフォームでご連絡いただき、受付後に納付書を送ります。

【問合せ先】 神奈川県福祉子どもみらい局共生推進本部 ☎ 045-210-4961

## 8 今後の展開について

今後は県立相模原公園での実施を予定しています。  
詳細については県ホームページにお知らせします。

